

小学5・6年生部門

- ①多くの参加者が、一定レベルの演奏に到達するために、たくさん努力して頑張ってくられた様子が伝わってきました。楽器を演奏することはもちろん、心を開いて表現できるという有意義なことですが、一方でコンクールという場合は、音楽を楽しむ、技術を向上させるための最善の場であるかどうかを常に問い続ける必要があると思います。
- ②実力より少し難しい選曲をした場合でも、不十分な／間違っ了解釈はしないでください。テンポや和音、またそのほか難しい要素がある場合には、選曲自体を変え、楽譜に書かれていることは決して変えてはいけません。家での譜読みであればともかく、公の場での演奏の際には特に注意をしてください。
- ③人前で演奏できるレベルにまで達するためには、まずその曲の本質を理解する必要があります。その曲がどのようなことを伝えているかがわかれば、よい音質など曲にあった弾き方をみつけやすくなるでしょう。
- ④全ての参加者のみなさんへ：ピアノを弾くことを通して、あなたはたくさんの素晴らしいスキルや経験を得るでしょう。その際、比べることや競うことは大事ではないということを忘れないでください。重要なのは、あなた自身の個性を磨くこと、そして芸術や人生を楽しむ、それらを理解することです。

コロナ禍が解決しない落ち着いた一年でしたが、それにも拘らず、ピアノに向い、コンクールにチャレンジするのは意義のあることだったと思います。全体的には良く準備の出来た演奏が多かったと思いました。自分自身の音楽の出て来る方がもっと多いと嬉しいのになあ、とも思いましたが、これは常に私達が考えるべきことです。音色を良く聴くこともそうです。より一層の進歩を求めて、頑張ってください。

各自演奏会場もピアノも違う中、音の響きなど様々な違いがあり、その中の審査に於いて動画から次の事に気をつけて演奏を聴きました。

- ・曲をどの様に感じて弾いているか。

何か急いで感じられる演奏や少し雑に感じられる演奏の人もいました。

- ・落ち着いて弾く

自分の演奏をよく聴き音の響きや鍵盤にタッチする瞬間に集中してどんな音色か良く聴いて欲しい人もいました。

5・6年にも関わらず素晴らしい演奏される人も多々おられました。大勢の素晴らしい演奏されている中、アジア大会に選ばれた方は是非頑張ってください。

皆さん難しい曲を大変よく練習しているのが伝わってきました。練習のやり方を工夫して効率良くできるといいですね。細かい音が雑にならないよう丁寧に練習して下さい。また楽譜からその曲のイメージをしっかりと受け取りましょう。

- ・オンラインコンクールという中で、多くの小学生が参加してくれたこと、特にご家庭のサポートあつての開催、参加された皆様に敬意を表す。
- ・選択肢を広げるために、何回か撮影された方も多いと思われる。一曲を最後まで仕上げたことは間違いなくレポーターとなることであろう。
- ・ペダリングは動画審査でも大きな課題である。
- ・撮影が終わったからと終わりにするのではなく、納得行くまで弾き込んで欲しいと思う。確実なレポーターとするために。

全体に技術的にも精神的にもレベルが上がっているように感じました。今回は例年と違って録画をすることが1つの仕事のようにりましたが、自分の演奏を省みる良い経験ができたと同時に、ミスをしないように集中するあまり楽器との対話を忘れてしまわないようにしていただきたいと思います。技術面ではソプラノを出すことに集中してしまい左手の意識が薄い方が多いと感じました。弱音にしても表現をなくさないでほしいと思います。体を使って大人顔負けの演奏を目指す傾向がありますが、まだこれから成長され、体格も変わってきます。表面的なことにとらわれずピアノに限らず質の良い音楽を浴びるように聴いて成長していった欲しいと願っております。

感染対策としてオンライン審査となった異例のショパン国際ピアノコンクール inASIA でしたが、参加の皆様のお熱演を聴かせて頂き、このコンクールとピアノが私達の日々に欠かせないものとなっているのを感じます。常に気になることではありますが、あと少し丁寧に作品に向き合っただけだと惜しい方がいらっしゃいました。リズムや呼吸やディナーミク、**expression** の幅、構成、左右のバランスを日頃の練習から新鮮に感じつつ練習して欲しいと思いました。LIVE ではないので、ミスや **pedal** の濁りなど撮り直しなさらしたら結果も変わったのではと思う演奏者もいらっしゃいました。